プレゼンター

代表取締役社長　川端 一生

株式会社エイチアイ

２０１１年３月期
決算説明補足資料

2011年5月

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

目　次

1. 2011年3月期　決算情報

P 3 2011年3月期 連結業績サマリー
P 4 2011年3月期 連結損益計算書の状況
P 5 2011年3月期 業績総括
P 6 ミドルウェア事業の状況：売上構成とセグメント営業利益（連結）
P 7 アプリケーション事業の状況：売上構成とセグメント営業利益（連結）
P 8 新領域の状況：売上高と売上構成比の推移
P 9 連結貸借対照表の状況

2. 今後の見通しと、中期的な取り組み

P11 当社を取り巻く事業環境の変化①スマートフォンの台頭
P12 当社を取り巻く事業環境の変化②当社ビジネスへの影響
P13 現在までの取り組みと、その成果
P14 今後の当社が取り組むべき課題と方向性
P15 Android向け製品・ソリューションの開発
P16 WebGL（HTML5）への対応
P17 サービス領域への技術提供
P18 UI開発力をベースに新たな製品・ソリューションを開発

3. 2012年3月期　通期業績予想

P20 2012年3月期 連結業績予想
P21 事業セグメント別の計画
P22 多様な収益の柱を確立し、継続的成長が可能な事業構造へ

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

2011年3月期

決算情報

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

2011年3月期 連結業績サマリー

営業利益・経常利益は前期に続き黒字化し、当期純利益も黒字化。第三者割当増資もあり、純資産も増加。

比較損益計算書（連結） 通期

単位:百万円	10/3期 通期	11/3期 通期	前期比
売　上　高	2,258	2,210	△48
営 業 利 益	67	115	+47
経 常 利 益	52	102	+50
当期純利益	△54	76	+131

- 従来型ﾋﾞｼﾞﾈｽの減収を新領域の売上がカバー
- 事業効率の改善や、コストコントロールの精度向上により総費用（売上原価＋販管費）が低下し、営業利益・経常利益は**黒字化**
- 当期純利益も**黒字転換**

比較貸借対照表（連結）

単位:百万円	10/3末	11/3末	増　減
流 動 資 産	1,499	1,885	+387
固 定 資 産	565	649	+83
資 産 合 計	2,065	2,534	469
負　　債	162	347	+189
純　資　産	1,903	2,187	+284
負債純資産合計	2,065	2,534	469

- 第三者割当増資や、戦略的に借入れを実施したことで、現預金を中心に流動資産が増加
- 今後の戦略推進に向けての借入れを実施

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

2011年3月期 連結損益計算書の状況

ミドルウェア事業・アプリケーション事業ともに計画通りに順調に進捗し、当期純利益も黒字に転換。

単位:百万円	9/3期 通期	10/3期 通期	前期比（9/3期vs.10/3期）	11/3期 通期	前期比（10/3期vs.11/3期）
売上高	1,917	2,258	+340	2,210	△48
売上総利益	817	805	△12	843	+37
販管費	917	737	△180	728	△9
営業利益	△100	67	+168	115	+47
経常利益	△103	52	+155	102	+50
当期純利益	△275	△54	+221	76	+131

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

2011年3月期 業績総括

スマートフォンの急拡大により国内外とも従来型ビジネスは減収となったものの、新領域の収益でカバー。

○ 連結売上高の状況

前期の特殊要因がなくなったものの、ほぼ計画通りに進捗し、前期並みを維持

- スマートフォンの急速な拡大により、フィーチャーフォン（従来型の高機能携帯端末）からのライセンス収入が低下。
- 一方で、中期戦略として取り組んできたデジタル家電等からのライセンス収入が本格化し、前期比で大幅に増加。
- また、サービスロイヤリティ収入など、サービス側からの売上高も大きく拡大。

○ 連結営業利益・経常利益の状況

前期に実施した不採算事業の廃止や、研究開発費等の費用コントロールの実施などにより、前期比で増益

- 前期に不採算事業の整理・廃止を行ったことにより、売上総利益率が改善。
- 研究開発費を初めとする販管費の各種費用コントロールを継続して実施。
- 円高による為替差損は発生したものの、差損額は前期比で縮小。

○ 連結当期純利益の状況

最終利益も黒字に転換

- 販売用ソフトウェアの一部を減損損失として計上したものの、経常利益の増加により黒字に転換。

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

ミドルウェア事業の状況 ： 売上構成とセグメント営業利益 （連結）

家電等からのライセンス収入の売上拡大や、イラプションSTの出荷を開始したものの、全体では減収減益。

単位：百万円	10/3期	11/3期	前期比
国内 ライセンス/サポート	749	917	+167
海外 ライセンス/サポート	441	261	△180
ミドルウェア受託 他	316	250	△66
ミドルウェア事業 売上高	1,508	1,429	△79
ミドルウェア事業 営業利益	598	523	△74

※セグメント売上高は、「消去又は全社」調整後の数値

MASCOT CAPSULE®
REAL-TIME 3D RENDERING ENGINE

国内ライセンス収入

家電等からのライセンス収入が本格的に増加。第4Qからイラプション STの出荷開始や、各種デバイスメーカー等との契約時売上の計上等により、全体では前期比で増収。

海外ライセンス収入

家電等からのライセンス収入の計上開始。スマートフォンの急速な拡大による従来型携帯端末向けマスコットカプセルの出荷台数の減少や、円高の影響による円換算時の売上高が減少。

ミドルウェア受託開発　他

前期末で、家電関連のUI受託開発の大型案件が一旦終了したことにより、前期比でで減少。
（製品化により、ライセンス収入が増加）
※下半期のみでは、家電向けUI受託開発は前年同期比で増加

ミ ド ル ウ ェ ア 事 業　営 業 利 益

引き続き外注費の見直し、販管費の削減等に努めたものの、従来型携帯端末からのライセンス収入の減少により、前期比で減少。

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

アプリケーション事業の状況 ： 売上構成とセグメント営業利益（連結）

受注状況は好調に推移し、ほぼ計画通りの売上高を達成。セグメント営業利益も黒字に転換。

単位:百万円	10/3期	11/3期	前期比
受託開発/運用収入	623	610	△13
ロイヤリティ収入　他	126	171	+44
アプリケーション事業 売上高	750	781	+31
アプリケーション事業 営業利益	△ 69	75	+145

※セグメント売上高は、「消去又は全社」調整後の数値

受託開発/運用収入

前期のau向け大型案件の売上計上という特殊要因が存在がなくなったものの、サービスプラットフォーム(SP)受託やサービス開発、ゲーム開発が、ほぼ計画通り順調に推移し、全体では前期比で微減。

ロイヤリティ収入　他

携帯電話向けゲームからのロイヤリティ収入が減少したものの、「i マチウケ3Dきゃらり★」などの「アバター関連」サービス収益が増加。
また、デザイン単独での売上計上も開始し、前期比で増収を達成。

アプリケーション事業　営業利益

前期に不採算事業を終了したことや、高利益率のサービスロイヤリティ収入の増加・売上原価・販管費の削減により、営業黒字に転換。

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

新領域の状況：売上高と売上構成比の推移

ミドル事業・アプリ事業ともに、新領域で大幅増収を達成するとともに、高利益型の売上構成にシフト。

単位：百万円 「消去又は全社」調整後の数値	09/3期	10/3期	11/3期
ライセンス/サポート	26	13	190
UI受託開発 他	109	254	184
ミドル事業（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ家電関連）	136	268	374
SP受託、アバター関連 等	61	456	480
自社ﾊﾟﾌﾞﾘｯｼﾝｸﾞ・ﾃﾞｻﾞｲﾝ 他	55	13	40
アプリ事業（ｻｰﾋﾞｽ関連）	116	469	521
新領域売上高　合計	253	737	895

※各売上高は、「消去又は全社」調整後の数値

ミドル事業：ライセンス収入が本格化・大幅増

前期：試作品/製品版のUI受託開発が中心

当期：製品版採用に基づくライセンス収入が本格化

前期比 13倍

↑

受託開発に比べ非常に高利益率

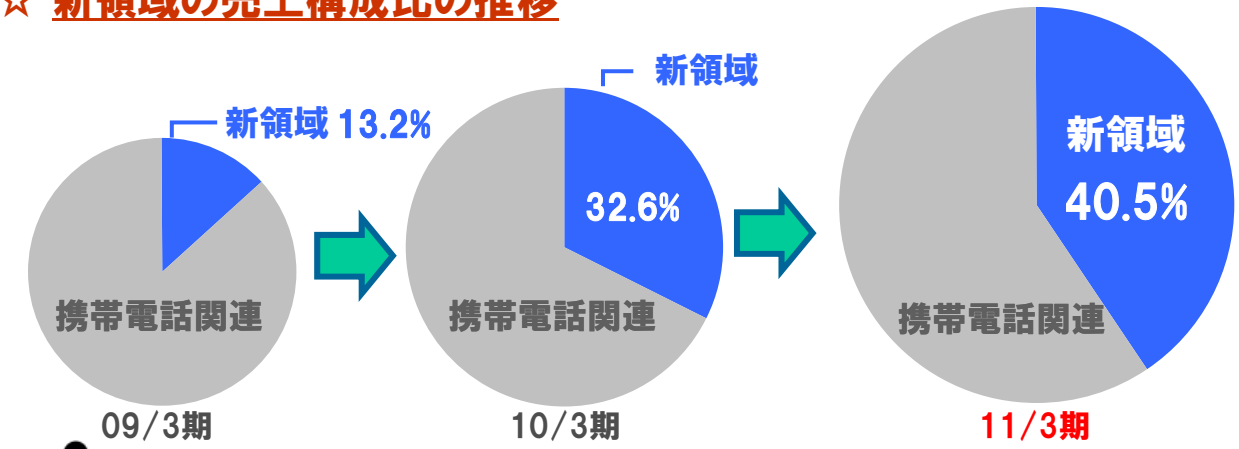
アプリ事業：SP受託等、ﾊﾟﾌﾞﾘｯｼﾝｸﾞともに増収

サービスロイヤリティ、自社パブリッシング・デザインの売上高合計が、アプリ事業の30%程度までに成長

↑

受託開発/運用収入に比べ非常に高利益率

☆ 新領域の売上構成比の推移



前期比で大幅増収となるとともに売上の中身が大きく変化

⇒ 高利益率の売上が大きく増加

売上高・利益ともに大きく成長

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

連 結 貸 借 対 照 表 の 状 況

現在の低金利状況を利用して借入れを実施し、今後の戦略を加速するために、手元資金を増加。

単位:百万円	10/3末	11/3末	増 減
流 動 資 産	1,499	1,885	387
現預金	902	1,417	515
売掛金	507	414	△92
たな卸資産	44	14	△30
その他	44	37	△5
固 定 資 産	565	649	83
有形固定資産	35	35	△0
無形固定資産	304	209	△95
投資その他の資産	225	404	179
資 産 合 計	2,065	2,534	469

単位:百万円	10/3末	11/3末	増 減
負 債	162	347	185
流動負債	161	279	118
買掛金	68	43	△25
短期借入金（1年内長期借入金含む）	―	133	133
その他	93	103	10
固定負債	0	67	67
純 資 産	1,903	2,187	284
株主資本	1,926	2,221	295
評価換算差額等	△23	△34	△11
負 債 純 資 産 合 計	2,065	2,534	469

流動資産の状況

DeNA社への第三者割当増資、借入れの実施により、現預金が増加

固定資産の状況

投資その他の資産が、投資有価証券により増加

負債の状況

今後の事業展開を見据え、2億円の借入れを実施

純資産の状況

自 己 資 本 比 率:86.3%
1株当たり純資産:70,640円68銭

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

今後の見通しと

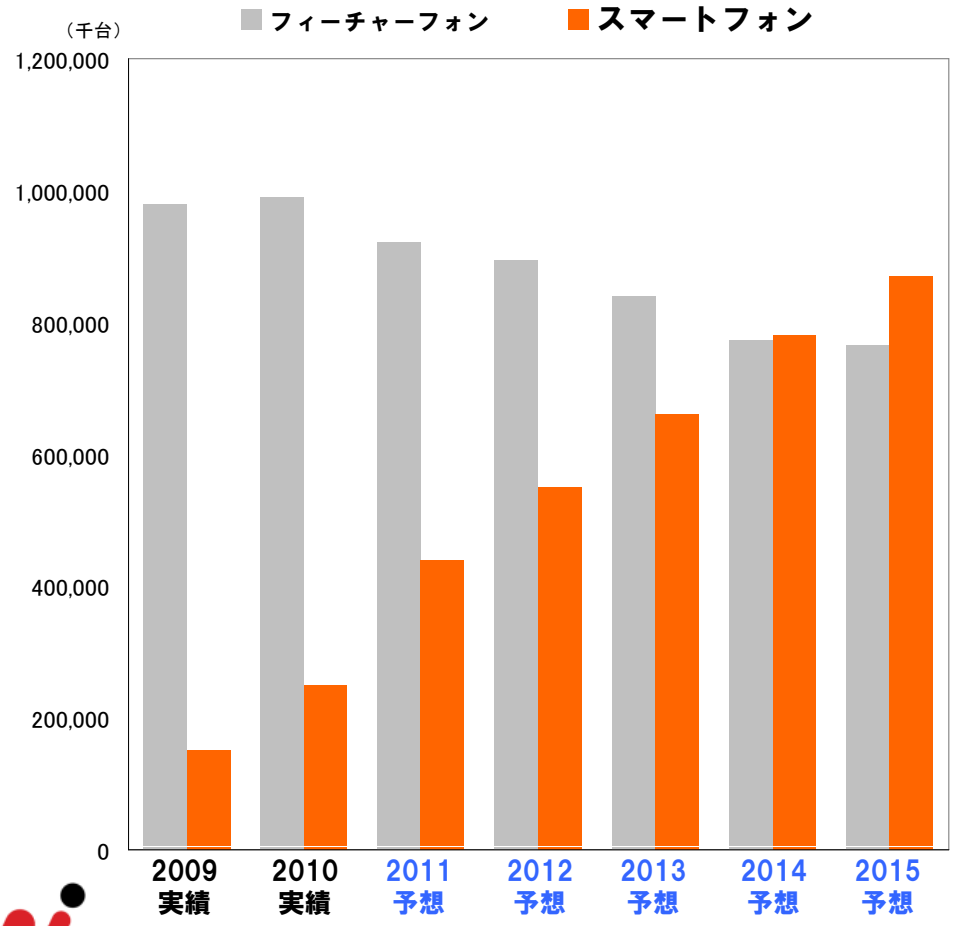
中期的な取り組み

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

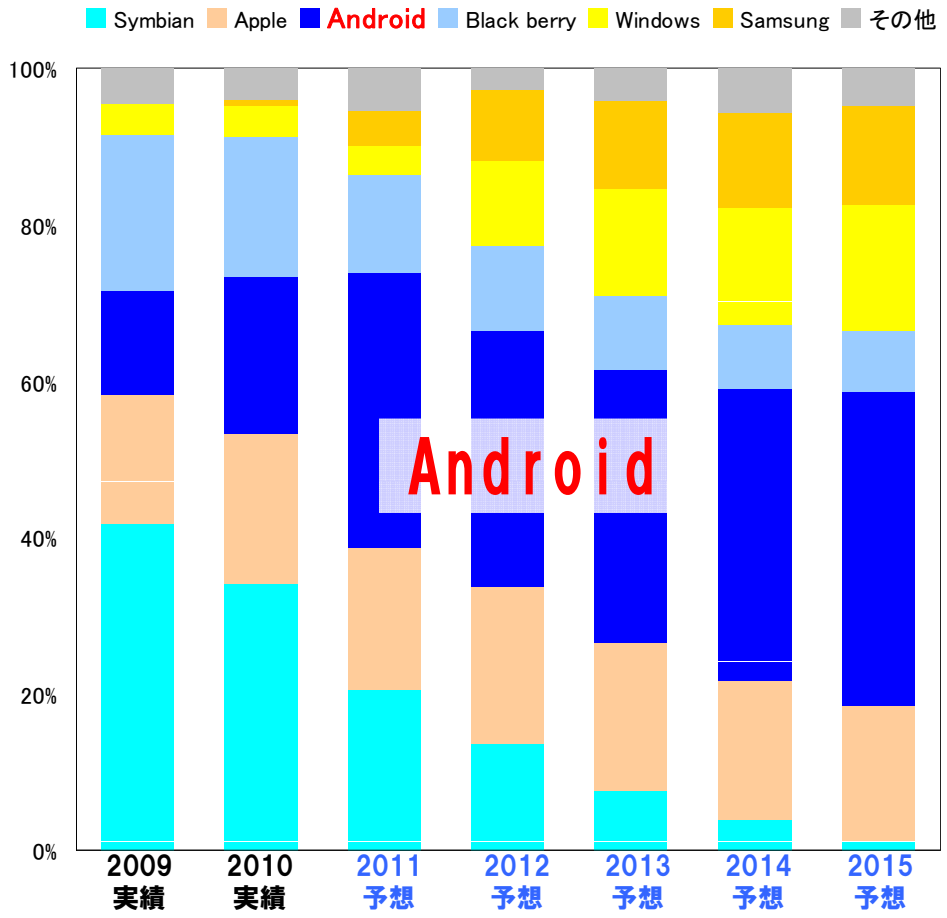
当社を取り巻く事業環境の変化　①スマートフォンの台頭

スマートフォンの出荷台数が今後も急速に拡大。搭載OS別ではAndroidのシェアが今年からトップに。

フィーチャーフォン/スマートフォン市場規模推移（世界市場）



OS別スマートフォン市場規模推移（世界市場）



（いずれの市場予測も出所は富士キメラ総研）

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

当社を取り巻く事業環境の変化　②当社ビジネスへの影響

スマートフォンの急速な拡大が続く中、当社ビジネスもそれに対応した変革を行っていくことが急務。

＜従来の収益の中心であったフィーチャーフォン向けビジネス＞

スマートフォンの台頭により

ミドルウェア事業

当社グループ → ライセンス提供、受託開発 → 通信キャリア / 携帯端末メーカー

当社グループ ← ライセンス料・開発費 ← 通信キャリア / 携帯端末メーカー

出荷台数 × ライセンス料

新機種数 × 受託開発費 組込み請負料

が収益の中心

フィーチャーフォン出荷台数が大きく減少
⇒ ライセンス収入の減少

フィーチャーフォン向け開発需要が低下
⇒ 受託開発収入の減少

アプリケーション事業

当社グループ → 企画・開発・サービス・サポート → 通信キャリア / 携帯端末メーカー

当社グループ ← 開発費・ロイヤリティ収入 ← 通信キャリア / 携帯端末メーカー

当社グループ → 企画・開発 サービス・サポート → CP

CP ← 開発費 ロイヤリティ収入 ← 通信キャリア / 携帯端末メーカー

携帯電話向けゲームの開発費や運用サポート費またはレベニューシェアでの収益が中心

フィーチャーフォン向けゲームの開発需要の低下
⇒ 各種収入の低下

※スマートフォンでは、自由に好きなアプリをダウンロードできるため

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

現在までの取り組みと、その成果

市場の変化への対応をいち早く開始したことにより、2011/3期は業績面での成果としても表れております。

グラッフィックス関連技術の拡充

ライセンス提供/受託開発/UIソリューション提供

MascotCapsule　Eruption
Eruption ST
Renderion

MascotCapsule UI Framework
Style3D
HIVE

高速度・高機能・立体視対応や
低リソース環境への対応

多様なデバイスへのUIソリューション
Android対応の製品・ソリューション

マスコットカプセルの技術活用

サービスプラットフォームとデザインパワーの提供

サービス実現・高度化に求められる技術の提供

- サービスプラットフォーム
  - ・受託開発
  - ・3DアバターASP
- デザインパワー

サービス側への発展

ユーザーの求めるサービスのマーケティング

- ｉマチウケ3Dきゃらり★
- HIGP

デジタル家電等からの売上高がミドル事業の26%まで成長

デジタル家電等においてもライセンス収入が大幅増

Android搭載スマートフォンへの当社製品の採用も開始

ミドル事業で培ったノウハウサービス領域技術を収益化

収益率の高いサービスロイヤリティの増加

アプリケーション事業が営業黒字化

さらに拡大・強化・スピードアップ

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

今後の当社の取り組むべき課題と方向性

スマートフォンの急速な台頭など従来以上の変化が予想される中、新たな取り組みを開始いたします。

今後の当社の取り組むべき課題

非携帯分野のデバイスへのライセンス提供拡大と、サービス領域への技術提供による収益の拡大

＋

前期までの成果を、製品面・営業面で更に強化・スピードアップするため以下の戦略を開始

Android向け製品・ソリューション開発

Android開発環境下で、開発者がアプリケーション開発やUI開発を容易にかつ、低コストで行うための製品・ソリューション開発を行います。

WebGL（HTML5）への対応

ブラウザがHTML5へと移行していく中国際標準となるWebGLに当社の3Dグラフィックス製品を対応させ、コンテンツ事業者とサービス事業者に提供してまいります。

サービス領域への技術提供

スマートフォン上のサービスプラットフォームに対する技術開発・提供を行ってまいります。
また、併せてコンテンツ提供も行ってまいります。

加えて、開発者・サービス事業者等のニーズを、当社収益へと結びつけるために、営業活動の強化を行います

2012年3月期以降、上記の戦略実施のための経営資源の投入と先行投資を開始

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

Android向け製品・ソリューションの開発

モバイル端末以外の家電などでも広く採用されることが予想されるAndroid向け製品・ソリューションを開発

Android環境の3DUI開発で発生する様々な問題

- 機種毎の画面サイズの違い
- 動作速度・描画の遅さや
- 開発の複雑さ・難易度
- OpenGL ESの専門知識

開発期間とコスト増に直結

現在の提供製品:マスコットカプセル　スタイル3D

多彩な3D演出を容易に導入可能

通常の2～3倍の高速描画を実現

3D演出開発の専門知識は不要

開発者の負担を軽減
&
スムーズ・リッチな3DUIを実現

開発期間・工程の短縮とコスト低減を実現

今後

★シェア増加に伴い、今後も続々と新機種と登場

★モバイル端末以外でもAndroidの採用が拡大

今後

★新機種の登場による新ソリューション需要に対応

★デジタル家電向けの開発ソリューション需要に対応

研究開発・製品開発を進め、更なる製品力の向上と営業活動の強化に取り組むことが必要

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

WebGL(HTML5)への対応

3Dグラフィックスの国際標準 WebGLの対応ブラウザへと移行していく中、その対応製品の開発を推進。

HTML5
プラグイン無しでブラウザ上で3Dグラフィックス描画を行うなど様々な機能を実現

ブラウザがHTML5へと移行

国際標準WebGL対応ブラウザが増加

HTML5対応のブラウザが増加する中、対応アプリの急増が見込まれ、それに対する提供ソリューションの開発が急務

HI CORP.

当社3Dグラフィックス製品をWeb3D化

Web3D対応製品をコンテンツ事業者とサービス事業者にサービスプラットフォーム等で提供

Avatar3D for HTML5

Avatar3D for Flash

Server Rendering 3D Avatar

※DeNA社と協業、クライント3Dアバター環境を構築
PC向け、スマートフォン向けなど

※韓国のOBIGO社と提携
デジタル家電製品向け
日本国内へのOBIGO製品の展開を行うと共に、ブラウザベースの3Dを活用したソリューションの展開を目指す。

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

サービス領域への技術提供

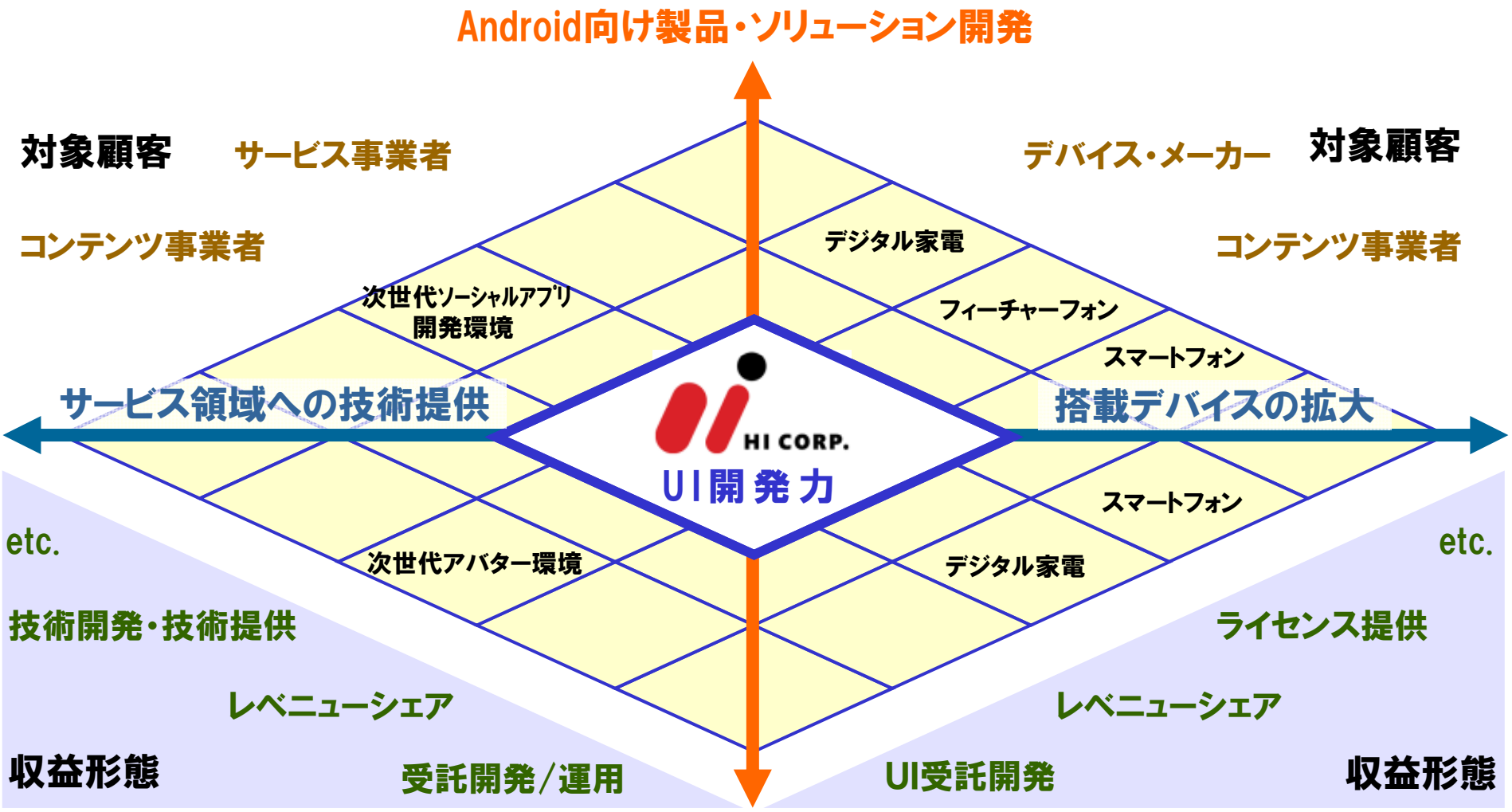
DeNA社との協業により、スマートフォン上のサービスプラットフォームに対する技術開発・提供などを推進。

エンドユーザー、3DゲームCPの両ニーズに適合する
スマートフォン上の次世代環境を実現

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

UI開発力をベースに新たな製品・ソリューションを開発し、次の成長を目指してまいります



©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

2012年3月期

業績予想

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

2012年3月期 連結業績予想

今後の方向性と、次の成長に向けた先行投資を当期から実施すること等により、赤字予想を見込む。

単位：百万円	11/3期 連結 実 績	12/3期 連結	
		計 画	11/3期比
連結売上高	2,210	2,060	△150
連結営業利益	115	△200	△315
連結経常利益	102	△200	△302
連結当期純利益	76	△205	△281

- アプリ事業は引き続き増収増益を見込むものの、フィーチャーフォン向けのライセンス収益が減少。新領域からの売上増は見込むものの、全社売上高は減少。
- フィーチャーフォン向けライセンス収入の減少により、売上総利益が減少。
- 将来へ向けた必要不可欠な先行投資として、研究開発費や営業強化の費用が増加。
- 結果、赤字予想となるが、次年度以降の成長のために当期からの着手が不可欠と判断。

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

事業セグメント別の計画 ： 売上高・営業費用（売上原価＋販管費）・営業利益

単位：百万円	11/3期 連結	12/3期 連結	
	実 績	計 画	11/3期比
ミドルウェア事業	1,429	1,143	△286
アプリケーション事業	781	917	+136
消去又は全社	△42	-	-
売上高	**2,210**	**2,060**	**△150**
ミドルウェア事業	945	928	△17
アプリケーション事業	707	786	+79
消去又は全社	441	546	+105
営業費用（売上原価 ＋ 販管費）	**2,095**	**2,260**	**＋165**
ミドルウェア事業	523	215	△308
アプリケーション事業	75	131	+56
消去又は全社	△484	△546	△62
営 業 利 益	**115**	**△200**	**△315**

売上高予想

ミドル事業：新領域のライセンス収入が増加するものの、スマートフォンの影響による従来型ライセンス収入の落込みが大きく減収。

アプリ事業：サービスロイヤリティの増加、受託開発の増加により、引き続き増収を見込む。

営業費用予想

ミドル事業：今後の方向性に基づく新規開発や営業強化に向けた人件費増等により営業費用が増加。

アプリ事業：売上増に伴う原価増が主因

消去・全社：研究開発費や人件費の増加

営業利益予想

ミドル事業：減益となるものの、営業黒字は維持

アプリ事業：売上の増加とともに営業利益の増加を見込む

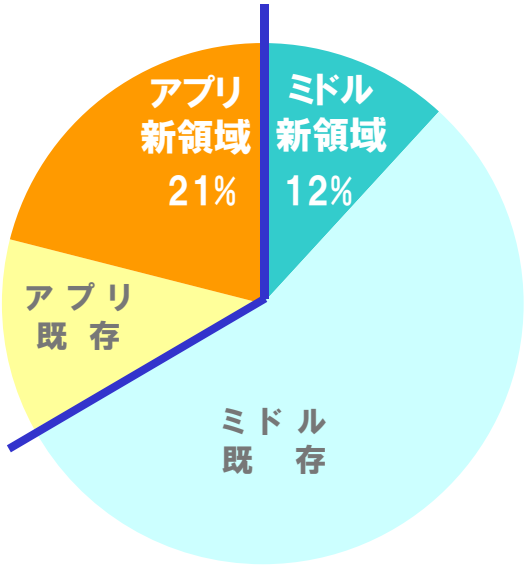
HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

多様な収益の柱を確立し、継続的成長が可能な事業構造へ

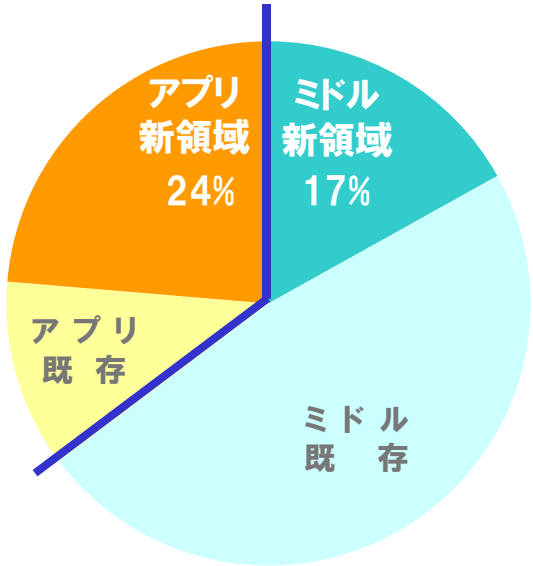
新領域での構成比が年々拡大。当期もアプリ事業が成長し、複数の収益の柱を持つ安定した成長企業へ。

2010年3月期
新領域の売上構成比
33%



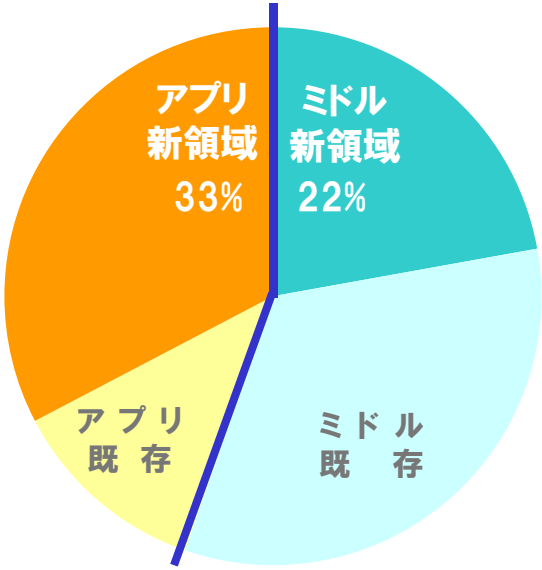
ミドルウェア事業とアプリケーション事業の売上構成比
ミドルウェア事業 67%
アプリケーション事業 33%

2011年3月期
新領域の売上構成比
41%



ミドルウェア事業とアプリケーション事業の売上構成比
ミドルウェア事業：65%
アプリケーション事業：35%

2012年3月期（予）
新領域の売上構成比
55%



ミドルウェア事業とアプリケーション事業の売上構成比
ミドルウェア事業：55%
アプリケーション事業：45%

HI CORP.

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved

HI CORP.

【IR窓口】 管理部門
Tel：03-3710-2985
Email：ir@hicorp.co.jp

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2011年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見/予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後、予告なしに変更されることがあります。

©2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved